

祝 成人おめでと

苧田町・苧田町教育

かなだ



議会だより No.135

| | | |
|----------|-------|-----|
| 新年のぞあいさつ | | P 2 |
| 12月定例会 | | P 3 |
| 議案質疑 | | P 4 |
| 委員会質疑 | | P 5 |

| | | |
|---------------|-------|------|
| 議決結果 | | P 6 |
| 議会のうごき | | P 7 |
| 一般質問 | | P 8～ |
| かなだスコープ！・あとがき | | P 18 |

2018年 謹賀新年

新年のごあいさつ



苅田町議会議長
坂本東二郎

新年明けましておめでとうございます。

町民の皆様方には、健やかに新春をお迎えになられたことと思います。

心よりお慶びを申し上げます。

また、平素より、議会に對しまして、暖かいご理解とご協力を賜り衷心より厚く御礼を申し上げます。

昨年は、町長選挙と町議会議員の補欠選挙が同時に行われ、新たな執行部体制がスタートしました。本町にとって大変重要な選挙であ

り、今後どのように進むべきか選択と実行を託された選挙戦であったかと思えます。

また、議会にも2名の新人議員が誕生し、町政発展のために頑張っているところと見受けられます。

今後も、町民に開かれた議会を目指し、議会の機能強化・議会運営の改善等、議会改革を推進してまいりますので、なにとぞ倍旧のお力添えとご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

本年が町民の皆様方にとりまして輝かしい年と成りますよう、ご健勝とご多幸を祈念して年頭の挨拶といたします。



成年 (いぬどし)
エトセトラ



今年(平成28年)は、12年に1度の干支です。12年前の出来事をまとめてみました。本年がみなさまにとって素晴らしい年になりますよう苅田町議会議員全員が願っています。

2006年(平成18年)はこんな年でした。

・ライブドアショック発生
・地上デジタルテレビの「ワンセグ」開始

・秋篠宮妃が悠仁親王をご出産

・小泉純一郎が総理を退任、後任に安倍晋三

・北朝鮮がテポドン2号の発射実験、初の地下核実験実施

【苅田町では…】

・空港連絡道路開通

・新北九州空港開港

・東九州自動車道苅田北九州空港IC開通

・JR苅田駅の東西自由通路・WEロードの開通

*平成29年度補正予算(第6号)

| | |
|--|-------------------------------|
| 一般会計 歳出(増額補正の主なもの) | 1億8,385万円 |
| ・過誤納還付金 | 900万円 |
| ・補助金返還金 | 1,507万円 |
| ・障害者福祉にかかる給付費 | 2,610万円 |
| ・制度改正による私立保育園委託料 | 1,788万円 |
| ・少子化対策保育料補助金 | 305万円 |
| ・子ども医療費及び養育医療費 | 772万円 |
| ・介護保険特別会計や国民健康保険特別会計への繰出金 | 2,942万円 |
| ・し尿処理場の設備修繕費 | 350万円 |
| ・雇用促進奨励金 | 5,937万円 |
| ・町営住宅のアスベスト含有調査分析業務及び大気中アスベスト濃度測定業務委託料 | 466万円 |
| ・制度改正による幼稚園施設型給付費負担金 | 533万円 |
| 荻田町国民健康保険特別会計 ・退職被保険者等高額療養費 | 1,228万円 |
| 荻田町介護保険特別会計 ・居宅介護サービス給付費 ・地域密着型介護サービス給付費 ・施設介護サービス給付費 | 7,345万円 2,501万円 7,445万円 |
| 土地区画整理事業特別会計 ・道路築造工事費 | 1,560万円 |
| 荻田臨空産業団地開発事業特別会計 ・シルトフェンスの交換に関する費用 | 111万円 |

補正予算

平成29年度一般会計補正予算(第6号)は、歳入歳出予

算の総額に歳入歳出1億8384万5千円を追加し、補正後の総額は127億6087万1千円。

12月定例会

平成29年度荻田町一般会計補正予算等15件、意見書1件を慎重審議

12月5日～12月22日

条例の改正

●荻田町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用

等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例
小児慢性特定疾病児童等日常生活用具の給付に関する事務を番号法第9条第2項に基づく事務として規定するため所要の改正を行うもの。



●荻田町職員の育児休業等に関する条例

●荻田町職員の給与に関する条例等、及び荻田町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例

平成29年人事院勧告に基づき、所要の改正を行うもの。

その他の議案

●町道路線の認定

帰属に伴う道路、認定外道路と寄附を受けた土地を一体整備してできた道路を、町道として認定するもの。

意見書

●核兵器禁止条約への参加を求める意見書

●町道路線の変更
帰属により延伸する路線の終点及び延長を変更。
●専決処分
平成29年度荻田町一般会計補正予算(第5号)
衆議院選挙、議員補欠選挙に関する経費。
2074万円

議案質疑

一般会計補正予算

▼児童手当システム社会保障・税番号制度

対応改修業務委託料

Q 国庫補助費3分の2の出所は。

A 国で決めたもの。メリットは、マイナンバーの利用で内部連携が行え利便性が向上する。

▼私立保育料委託料

Q どの園か。

A 国の制度による保育士の処遇改善で、経験年数が7年以上で研修を受けた中堅職員が月額4万円、経験年数が3年以上で研修を受けた職員が月額5千円、各園で支給される。

▼少子化対策保育料補助金

Q どのような内容か。

A 中学生以下の子どもを3人以上扶養している場合、3人目以降の子どもに対する保育料の半額補助。

▼保育士等処遇改善特例事業補助金

Q 「等」とは保育士以外にも対象となるのか。

A 保育園で働く調理師等も含まれる。

▼養育医療費

Q 2000グラム以下の低出生体重児の本町での出生数は。

A 数は把握していない。補正した経緯は、昨年度16件だったが、今年10月時点で24件あり、今後も増加が見込まれるため。

Q 未熟児の増加を町としてどう捉えているか。妊産婦にどの

ように指導しているのか。

A 未熟児で生まれる原因がどこにあるかは把握できていない。パンジープラザに保健師が配属されているので、引き続きサポートしていく。

Q 増加している原因

をつかんで対処してほしい。町で指導する人はいるのか。

A 昨年10月から助産師を1名雇用しており、妊娠届け出から出産するまで切れ目のない支援を行っている。

▼し尿処理施設修繕費

Q 350万円の内容は。

A し尿処理場のバーナーの修繕。焼却施設は19年が経過し、老朽化している。

Q 修繕してあと何年

利用できるのか。バーナーについては

今後5年か10年は利用できる。

Q 施設を新設すると

いくらかかるのか。

▼雇用促進奨励金

Q 雇用促進奨励金について、企業名と雇

用人数は。

A ニッパツ九州で町内に住む雇用人数は10名。

▼道路新設改良費

Q 説明欄の資産とは何か。

A 公会計制度導入に伴い、財務諸表を作成する関係で表記を改めた。

Q 内容が変わるのか。

A 内容は変わらない。

▼図書館費

Q 図書館で計上されている賃金の内容は。

A 図書館臨時職員の賃金である。

Q 何名か、その内訳

は。

A 10名分である。10月に最低賃金法が改正され、月額200円分の差額が発生したため支払うもの。

菟田町菟田臨空産業団地開発事業特別会計補正予算

Q シルトフェンスとは何か。

A 臨空産業団地内の土砂などの微粒子が海に流れ込まないようにするためのカーテン状の幕。

Q 何箇所あるのか。

A 担当課で設置しているのは1箇所。

菟田町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

Q 改定に伴う民間との

均衡と効果額、ラスパイレス指数(※)、支出額はいくらか。

A 人事院勧告に準拠したもので、国レベルで調査をしている。全体

で約1200万円の増額。ラスパイレス指数は平成29年度は98.7、政令市を除く県内58市町村の内30位である。

Q 調査人員について

以前と違いが出てないか。

A 以前のことは承知しないが、従業員50人以上の企業で調査している。

要望

町の企業との均衡を図る為、実態調査を行うべきだ。

(※) ラスパイレス指

数：国家公務員の俸給月額を100とした場合の地方公務員

一般行政職の給与水準

総務常任委員会

▼一般会計補正予算

Q 返還金はどのような内容か。

A 主に福祉事業で、平成28年度実施事業を翌年度に精算して返還するもの。

Q 消防費の修繕料について、シャッターの修繕と説明があったが、その他にもあるのか。

A 突発的な修繕で、施設や設備に伴うもの。

Q 外国債の満期はいつまでか。

A 平成20年に購入して30年後となる。

Q 毎年いくら収入があるのか。

A 昨年は40万、今年度は9月に40万円、平成30年3月収入見込みである。

▼行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例

Q マイナンバーを使わないと対象とされないのか。

A マイナンバーを利用することで添付書類が不要となり利便性が向上する。本人から所得証明書等が提出され確認が出来ればマイナンバーを利用しないことも可能。

Q 条例に書き込めないのか。

A 条例には書き込めない。

産業建設常任委員会

▼一般会計補正予算

Q 雇用促進奨励金の支給要件である苅田町民の雇用について、確認の方法は、また雇用期間は。

A 住民票や保険証で確認を行っている。雇用期間については1年を継続して雇用することになっている。

Q アスベスト含有調査委託について、国費はどこまでが対象になるのか。

A 含有調査費は国庫補助対象でその後の空気調査については、町単独費となる。

Q 国が求める以上の調査を行う理由は。

A 現に居住している方の安心・安全を確認するため。

▼町道路線の認定

Q 町道路線の本数・総延長は。

A 現在920路線、延長は225km。

Q 路線認定の基準はあるのか。

A 法律により道路構造令にそった開発行為の道路は、町に帰属すると定められている。

厚生文教常任委員会

▼一般会計補正予算

Q 自立支援給付費及び障害児通所給付費について対象の人数は。

A 月当たり直近の値で840人と163人。

Q 国民年金システム改修委託料減額の理由は。

A 補助金を活用し平成30年度に改修を行う。

▼苅田町介護保険特別会計補正予算

Q 主治医意見書作成手数料外の増額分の対象人数は。

A 30名分である。

Q 介護保険システム保守業務委託料外は当初予算には計上できなかったのか。

A 詳細が決まらず金額がなかなか出なかった。



ペンギン教室

平成29年第4回 苅田町議会定例会議決結果一覧表

| 議案番号 | 議案題名 | 村上智宣 | 高橋達之 | 屏正隆 | 岩谷潔 | 沖永義樹 | 白石学 | 友田敬而 | 榎谷忠明 | 常廣直行 | 三原茂 | 井上修 | 武内幸次郎 | 梶原弘子 | 松蔭日出美 | 小山信美 | 坂本議長 | 結果 | |
|---------|---|------|------|-----|-----|------|-----|------|------|------|-----|-----|-------|------|-------|------|------|----|----|
| 選任第3号 | 常任委員会委員の選任 ・総務常任委員会（村上智宣氏） ・厚生文教常任委員会（高橋達之氏） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | 同意 |
| 選任第4号 | 特別委員会委員の選任 ・行財政改革特別委員会（村上智宣氏、高橋達之氏） ・ごみ問題対策特別委員会（村上智宣氏、高橋達之氏） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | 同意 |
| 議案第84号 | 平成29年度苅田町一般会計補正予算（第6号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | 可決 |
| 議案第85号 | 平成29年度苅田町国民健康保険特別会計補正予算（第4号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | 可決 |
| 議案第86号 | 平成29年度苅田町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | 可決 |
| 議案第87号 | 平成29年度苅田町介護保険特別会計補正予算（第3号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | 可決 |
| 議案第88号 | 平成29年度苅田町土地区画整理事業特別会計補正予算（第2号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | 可決 |
| 議案第89号 | 平成29年度苅田町苅田臨空産業団地開発事業特別会計補正予算（第1号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | 可決 |
| 議案第90号 | 平成29年度苅田町下水道事業会計補正予算（第2号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | 可決 |
| 議案第91号 | 平成29年度苅田町水道事業会計補正予算（第2号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | 可決 |
| 議案第92号 | 苅田町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | 可決 |
| 議案第93号 | 苅田町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | 可決 |
| 議案第94号 | 苅田町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | 可決 |
| 議案第95号 | 苅田町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | 可決 |
| 議案第96号 | 町道路線の認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | 可決 |
| 議案第97号 | 町道路線の変更について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | 可決 |
| 議案第98号 | 専決処分について（平成29年度苅田町一般会計補正予算（第5号）） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | 承認 |
| 意見書第10号 | 核兵器禁止条約への参加を求める意見書 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | ○ | ○ | × | ○ | × | × | - | 可決 | |

○－賛成、×－反対

※議長は採決に加わらない。但し賛成、反対が同数の場合は議長判断による。※可決された意見書は、関係機関に送付しました。

| 12月 | | | | | | 11月 | | | | 10月 | | | | | |
|---|---------------------------|--------|------|------|------|--------------|----------------------|------------------------|--------------------------|---|---------------|--|------------------------|------------------------|---------------------------|
| 22日 | 20日 | 12月14日 | 7日 | 5日 | 1日 | 28日 | 17日 | 10日 | 8日 | 13日 | 6日 | 4日 | | | |
| 議会閉会 | 議会広報特別委員会 (135号の企画・編集) | 付託委員会 | 一般質問 | 議案質疑 | 議会開会 | 片島小学校より議場の見学 | 議会運営委員会 (12月定例会について) | 議会広報特別委員会 (135号の企画・編集) | 全員協議会 (12月定例会提出予定議案について) | 町村議会広報研修会 (1) 広報誌の編集のポイント (2) 広報誌クリニック | 青豊高等学校より議場の見学 | 田川郡町村議長会研修会 「ICTを活用した鳥獣被害対策の実践と自治体データの活用」 | 議会広報特別委員会 (134号の企画・編集) | 議会広報特別委員会 (134号の企画・編集) | 議会広報特別委員会行政視察 (油木ダム管理出張所) |
|  <p>片島小学校の議場見学</p> | | | | | | | | | | | | | | | |

3月定例会の予定

2月27日(火) から
3月20日(火) まで

* 一般質問は

- 3月6日(火)
- 3月7日(水)
- 3月8日(木)

* 開催時間は

午前10時～午後5時

* 受付 庁舎6階にて

* 問合せ先 議会事務局

☎ 093・434・1981

12月議会の傍聴者
90名

議会改革

議会中継実施しています!

視聴方法 苅田町ホームページの「インターネット議会中継」をクリックすると、苅田町議会インターネット中継の画面が表示されますので、「ライブ中継」または「録画中継」をクリックし、ご希望の会議映像をご覧ください。



ココをクリック!

新しい画面が開きます

12月末アクセス件数

ライブ中継 971件

録画中継 1,091件(平成29年4月からの累計)

一般質問

松蔭日出美議員の一般質問については、原稿掲載を辞退する申し出がありました。一般質問について掲載している内容は、会議録に基づき質問者自身が要約し広報委員会が校正したものです。なお、一般質問のすべては苅田町議会ホームページでご覧いただけます。

Q 国保は来年度から
県単位でどう変わる

A 標準的な保険税率
は年明けに示される



梶原弘子 (日本共産党)

Q 医療費抑制や徴収強化が国保運営方針に組み込まれ、値上げも予定されているのか。

A 年明けに標準的な保険税率が県から示され、今度は町で検討し決定する。

Q その説明はどこでされたのか。

A 平成30年に向けて県と市町村で検討しているが拡大幹事会という各市町村の課長が話し合う場がある。

Q そういう中で予測される保険税額が出されているのか。

A 30年度の国保税は、過去の医療費に基づいて計算し仮の計数は出ている。

Q 仮の計算をしてみても値下がりはあるのか。

A 町は赤字があり、下げるということはない。徴収率を上げる努力はしている。

Q 国保税のスタート時、国から2分の1くらいの補助金があった。

Q 国に対して補助金増額という意見はないのか。

A 新制度になるため、国から新しい税が入ることになっている。

後期高齢者介護保険

Q 赤字解消では、予防医療を徹底する取り組みは。

A 町民一人一人が生活習慣病を予防することが重要で、健康講話、啓発事業、月に一度広報かんだに

健康レシピ等の掲載を行った。

ごみ問題改善策

Q ゴミゼロを目指して、再資源化を基本とするごみ減量の取り組みについて。

A 専用の回収ボックスを設置し、資源化を推進し、減量に取り組んでいる。

Q ごみ全体の34.9%を生ゴミが占めているが増減は。

A 横ばい状態である。

提言 町の「ゴミ問題」について議会でも何度も質問・提案し、区長会では10年に渡って研究し、意見をまとめて来た経過がある。しかし様々な意見の生かし方が遅い。財政問題の改善につながる「ゴミ問題」。

スピードをあげて取りかかっていただきたい。

交通事故から住民を守れ

Q 見通しのいい県道で、高齢者の死亡事故が起きた。安全対策は国・県にどう働きかけたのか。

A 翌日に行橋署、道路管理者の県、町と現地でも今後の対策協議をし、横断歩道の設置が検討されている。

急傾斜地

Q 住宅地開発で町内の急傾斜地の住民に安心をと説明会を開けないか。

A 自主防災組織

の設立や訓練実施を進めたい。

広谷湿原の土地所有問題

Q 町の大切な財産、平尾台の広谷湿原の所有権は。

A 湿原は荇田町大字谷で登記されている。「ラムサール条約」に登録する話があるが、土地の境界をはっきりさせ解決に向けて努力したい。



広谷湿原

Q 与原区画整理事業は

A 今迄通りやって行く



梶谷 忠明 (未 来)

Q 前町長が最低3億円は確保して行くと言っていたが間違いないか。

A 来年度においても、事業費で3億円の予算を確保する。

Q 与原区画整理事業の終了予定は平成39年度で変更はないか。

A 現在の計画では、平成39年度工事完成の予定。

Q 区画整理事業終了後の手続きは。

A 換地処分の手続きを経て清算金の整理

など、平成44年の予定である。

Q 区画整理の補助金は、今迄どのくらいか。

A 国費で5億7千万円、もう一つ雨水幹線の整備費として2億1千万円をもっている。

Q 都市計画道路の尾倉与原線の完成は今年度の供用開始の予定だったのでは。

A 遺跡が見つかり、今年度本調査が必要に成る部分が出て来

て年度内完成はむづかしい。

Q 一度地権者に進捗状況と今後の見通しについて説明会を開いて頂きたい。

A 過去の説明会は事業計画に変更が有った時で、計画的に現在の計画をそのまま進捗するので考えてない。

提言 一度町長が地権者に説明会を開くべきだ。

北九州空港

Q 今後の取組は。

A 空港と本町の用地について航空機産業の誘致に努めて行きたい。

Q 三菱航空機(MRJ)は、現在アメリカでトライアルをしている。今後、町長が先頭に立ってトランプセールスは行なわれないか。

A 是非、セールスをやってみたい。

Q 町独自と商工会議所の連携は。

A 商工会議所からの情報も貴重な情報であり、連携は十分に取っている。

Q 海上保安庁が福岡空港から移転してくると聞いているが、その時期は。

A 平成31年度末、要するに平成32年3月

末迄には来る。

Q 移転して来る飛行機やヘリコプターの機数は。

A ビーチクラフト2機、ヘリコプター2機の4機。

Q 滑走路、2500

mでその内苅田は100mだが、延伸の話はどうなっているか。

A 貨物の拠点化を目指していて、2500mを3000mにと国の方へ要望している。



尾倉与原線

Q 町長の目指すべき町づくり

A 人に優しく、町を元気に



武内幸次郎 (未 来)

Q 新たな投資とは。

A 事業の重要性や緊急性など考慮したい。まずは、庁舎等の耐震化や改修など町を元気にするための投資を。

Q 本町の潜在能力は大きなものがある。発展にどのように結び付けて行くのか。為政者として大きな課題だが。

A 就任して1ヶ月足らずであり一生懸命、勉強している最中である。

Q 本町は、陸海空の交通の要所であり災害の少ない地域である。この地の利をどのように活かしているのか。

A 定住化の促進や企業誘致など優位性、利便性を活かした活動展開をしていく。

Q 選挙で財政再建を訴えていたが、財政悪化を招いた要因をどのように受け止めているのか。

A 行政サービスもシビアな行政評価を行

い赤字の本質を突き止めた。

Q 財政健全化に向けてどのように取り組む

のか。

A 扶助費など社会保障に係る支出が増えてきた。収入に見合った歳出に変更していくような柔軟性が必要だ。

Q 効率性などの対応にスピード感を感じない。白川南部地区の農業集落排水の供用開始から1年、接続件数は。

A 白川4地区の接続



白川南部地区

状況は谷区、希望世帯51件中11件、法正寺区、28件中2件、黒添区、56件中6件、鋤崎区、44件中9件です。

Q 地域に見合った処理方法を考えて行くべきだと言って来たが現況をどのように捉えているか。

A 2割弱の繋ぎ込みしかない事業の必要性を検証する手掛かりになる。

提言 自治設置型で合併浄化槽を推進する方が早いし経費も安い、維持管理を適切に行えば水質も守れる。

Q 企業誘致や定住化を図ると言われているが、工業用地は県の用地以外にない。苅田独自の用地が必要なのか。

要では。

A 広く見渡すとまだある。法の網がかかっている所をどのようにしていけば出来るのか検討したい。

提言 パンジープラザは工業用地に立地している。雇用創出、税込確保の出来る工業用地に福祉施設が必要なのか。



Q 学校のエアコン設置は

A 来年度夏休みに設置を検討



岩谷 潔 (飛翔の会)

教育問題

Q 全国的に教員の勤務時間が過労死ラインに達している現状という報告があるが、町の教員の勤務時間は。

A かなりの長時間勤務をしている。

Q 現状についてどのように思うのか。

A 長時間勤務が常態化するということは、精神的にも、肉体的にも好ましくないことを認識している。

Q 北九州では中学の

部活動を外部から部活動指導員として採用している。仕事を減らすなど、具体的な対策は。

A 教科指導、生活指導、部活指導が一体となって子供の人格形成に役立っている面から、指導者を選定するのが難しい。現場と話しながら対応していきたい。

Q 教育委員会として労働時間についてガイドラインを決めるのが望ましいのでは。

A ワーク・ライフ・

バランスの実現に向けた働き方改革をしていかなければいけない。

Q 教室のエアコンの設置について、具体的な考えは。

A 来年度の夏休み中に設置したい。一度に全教室に設置するには財政的に厳しい。子供たちが常時いる教室だけにしぼっていく。

Q 今後多くの学校施設で改修時期を迎えるが、どのような計画でそれを進めていくのか。

くのか。

A 30年から40年経過した校舎が8校ある。これを70年から80年持たせる長寿命化計画を立てる。

Q 部活動中など授業中以外での災害時の避難訓練は出来ているのか。

A 授業中以外までを想定している学校は少ない。

提言 災害はいつ起こるかわからない。様々な状況に応じた対策マニュアルを作成してほしい。

待機児童問題

Q 現在42名の待機児童がいるが、年齢は。

A 約9割が0歳・1歳児。

Q 来年度から園児募集制度が変わるが、待機児童の数は。

A 町で利用調整をするが、30数名の余剰が出ている。

Q 待機児童を0にするには幾つもの方法が必要。その1つとしてこども園はどうか。近隣自治体はすべて行っているが、検討しては。

A 待機児童対策は大変重要な課題だと思っている。検討していきたい。

下水道事業について

Q 今後の事業方針は。

A 平成28年度全体計画の見直しを行い、47年度完了を目標に整備を進める。

Q 第4次総合計画のアンケートを見ると町に住み続けたくない理由として、上下水道などの生活環境施設の整備が遅れているとあるが。

A 公共下水道整備率47%、合併浄化槽40%、農業集落排水3%で少し遅れているが水洗化率は90%で遅れていないと思う。

提言 町民アンケート結果では、下水道整備の重要度が最も高い結果である。効果的に事業を進め、快適な生活環境を。



Q 新町長の今後の町づくりは

A 財政状況等を把握し決める



白石 学 (公明党)

Q 具体的な施策は。

A 小波瀬駅前周辺整備事業、小中学校のエアコン設置、庁舎建て替え等。財政健全化を図ることで政策を実現。

Q 財政が厳しい中、国・県との連携を密にする必要があるのでは。

A トップセールスは大切だ。人間関係を構築し、積極的にやっっていく。

Q 財政悪化の要因は。

A 色々な要因が複合

している。科学的な根拠に基づき、事業をシビアに評価、検証し見直す。

Q 新しい行政評価制度はいつまでに作るのか。

A 新チームを設置し、新年度から作業を進める。

Q 今までの行政評価制度は機能していたのか。

A 改善点を解決策まで提案できなかった。

教育問題

Q 教育委員会の開催の周知は。

A ホームページで期日を紹介している。

Q ほかに周知の方法は。

A 急遽日程が決まる 경우가多く、広報誌は締め切りがあり、掲載は難しい。

Q 評価報告では、エアコンの設置が最優先課題と指摘されているが。

A 財政負担が大きい

が、夏休みに工事を目標に検討している。

Q インクルーシブ教育について、訪問結果は。

A 幼稚園、保育園の11園を2回ずつ訪問。33件の相談を受けた。

Q その後の対応は。

A 就学児健診後の教育相談で聞き取りをし、体験入学等を通して、新入学に繋げていく。

防災・減災

Q 国土強靱化地域計画の策定は。

A 31年度以降になる。地域防災計画の修正と受援計画の策定を行う。

Q 業務継続計画の策定は。

A 全職員に研修、ヒアリング、図上訓練

を実施。今年度中に作成する。

Q 避難所運営マニュアルは。

A 11月の図上訓練と1月の実働訓練で原案を作成し、2月に完成予定。

Q 被災者支援システムの導入は。

A 10月に導入した。操作方法の研修や体制づくりを図っていく。



Q 新町長の思い描く町の姿は

A 公平・公正な運営を継続させ元気な町にしたい



友田 敬而 (未 来)

Q 地方財政審議会が意見書を先日出したが把握しているか。

A していない。

Q 現在、財政が裕福なのではなく、来るべく公共施設の建て替え、改修のために基金を積み増しているのであって、地方財政財源の削減は、しないでくださいという意見書であるが。

A 本町の基金は現在30億円。全国平均の125億円に比べると少ないと感じる。

Q 本町の財政についてどのような認識か。

A 現在ヒアリングが3分の1しか終わっていない。財政悪化の原因を推測はしているが把握できていない。行政評価等を通じて科学的に分析し把握していきたい。

Q 私が考える苅田町の財政の重要ポイントは将来にわたってどのように本町を持続させていくという一点に尽きると思う。

A 当面はこれ以上財政を悪化させないよ

うに財政運営を行うことが大事と考える。

Q 本町は、財政が悪化したから、赤字になっているのでは無い。歳入が欠陥しているにもかかわらず、歳出は当初の予算通り、貯金を取り崩して行っているのでは赤字決算になってきた。このような財政運営を行うのか。

A そのようなひどい状況にすぐになるとは考えられない。

Q 町長の所信表明は元気な街をつくるた

めに新しい投資を行うと表明した。また町長選挙の公約は二つの駅を中心とした街づくりと謳っている。苅田駅は整備したときにもう一つ周辺整備事業があった。町長は知っているか。

A 知らない。もつと苅田駅に手を加えれば、もつと使いやすい駅になる。そうすれば、人が集まり賑わいが生み出される。

Q 町長は科学的に分析しながら投資効果の観点で新しい事業に投資を行いたい。そして、その投資の効果をしつかりと見極めて事業を推進するとの考えか。

A 当面の見通しとして、まず、庁舎をどうするか、小中学校のエアコンの設置を夏休みまでに行うた

めの資金の段取りをしないといけない。

Q 町長の考える苅田町の役割は北九州築地域のけん引役として中心的役割を果たすと大変力強い宣言だと思うが。

A 思いとしては、苅田町は、陸海空の交通結節点であるというところで地の利に恵まれていて。町が、もう少し活性化して企業が元気になって新しい事業に投資できるようなことが町内で行われれば、町全体が活性化し、周辺にも及んで周辺地域と一緒に元気になるって元気にしたい。

Q 町のランドデザインが今、ないと考えるが。

A グランドデザインの必要性は感じており、苅田町の中のようなことを議論できる仕組みを作りたい。



Q 港まつり花火大会の復活を願う

A 実施する方向で具体的に準備を進めていく



屏 正 隆 (無会派)

安心安全なまちづくり

Q 一気に全部の防犯灯をLEDに変えた方がよいのでは。

A 早くLED化を進めるように庁内で検討したい。

Q 防犯カメラの台数が増えていない。ドライブレコーダーからでもと言っていたが。

A 公用車と青パトにつけている。
Q 子どもたちの安全

を守るのももちろんだが、飲食街にも防犯カメラが必要では。

A 設置できればした方がよいと思っ

Q 南原小学校正門前は、すぐに車道だが、安全対策は。

A これまで横断歩道の設置や止まれ表示、車よけポールを設置、ゾーン30規制等したが、ブロック塀により視界が遮られ安全確認がしづらい状況である。

Q いつ事故が起きてもおかしくない。今後の対策は。

A ブロック塀を透視性のある金網フェンスにする案を考えている。子供たちの安全のため年度内改修に向けて努力する。

Q 子育ては高校生からが本格的にお金がかかる。18歳までの医療費助成はできないか。

A 財政状況を考えながら今後検討したい。
Q 18歳まで引き上げ

ると予算は。

A 約2200万円位と見込んでいる。

Q 初回受診料だけでも千円均一にすると、早い段階で病院に行かせる事が出来るのでは。

A 今後、検討課題と考えている。今の時点では難しい。

元気なまちづくり

Q ふるさと納税の寄附金約6千万円は、まちづくりのために使われたのか。

A 使っていない。

Q 以前、町に元気を取り戻すために、祭りやイベントに

使いたいと言っていたが。

A 今後、新町長が判断し夢のある事業に充てていきたい。

Q ビジョンや想いが大事。その事だけを考えられる環境が必要だ。「荻田町の未来を考える企画課」を設置してはいかがか。

A そういうセクションが必要だと思う。是非つくりたい。

Q 予算に余裕がある

から何かをしようという考えではなく、本町・町民のためにこれこれが絶対必要だというのが先。そんな企画を考え実現に向け夢や目標を持って働いてもらった方が町は元気になるのでは。

A 職員から活発な意見が出るような雰囲気、仕組みをつくっていききたい。



かんだ港まつりの花火

Q JR小波瀬西工大前 駅について

A 強い気持ちを持ってやる



井上 修 (飛翔の会)

Q 町長の選挙公約で

あるJR小波瀬西工大前駅の基本構想の考えは。

A 地域の活性化補助金等さまざまな見地から実現に向けて検討していく。

Q 計画の推移での小波瀬病院、西日本工業大学の資金援助はないのか。

A 資金援助については示されていない。

Q 財政面も含めて西日本工業大学、小波瀬病院との話を。

A 費用負担の観点か

ら協議を進めていきたい。

Q 将来的には利便性の使いやすい橋上駅とすることでのいいか。

A 日豊本線をまたぐ山側、海側からのアクセスができる橋上駅が一番望ましい。

Q 小波瀬校区、白川校区含めて周辺の夢。一日も早く実現に向けて取りくんではない。

A 強い気持ちを持ってJR小波瀬西工大前駅をやる。

産業振興政策

Q 産業振興はどのように取り組むのか具体的な政策の所信は。

A 具体案はないが、行政が定期的に企業の方々と意見交換の場を持って、一層の産業振興につなげていきたい。

Q 本町の産業立地の地方公共団体は企業に力をつけていただく。個人所得を伸ばす姿であるが。

A トップセールスが

必要だと言う話もある。積極的な誘致活動、外交なりを進めていく。

Q 新規開発にかかる研究費とか不測等の問題があり、本町では特許取得等の補助金はあると思うが。

A 特に中小企業に関する支援で国際認証（ISO）等資格を得る時の補助はしている。

Q 人材確保や人材育成支援の政策をお聞きしたい。

A 工業高校一年生を対象として160名企業訪問バスツアーを4社に回った。

Q 今後の戦略指針を設けていけば概要は。

A 成長産業分野（自動車・半導体・ロボット）技術と人材が集積しているので、航空機産業の誘致につ

なげていく。

機構改革について

Q 本町の将来の資産の確保の部署である交通商工課を産業振興に特化し組織する必要があるのでは。

A ヒアリングを見て、

役場全体の業務量人員配置を見直しながら総合的に判断をしていきたい。



小波瀬西工大前駅

Q 学校教室への
エアコン設置を望む

A 設置する方向で
前向きに検討している



高橋 達之 (日本共産党)

Q いつ、どのような
かたちで設置させる
のか。

A 平成30年の夏休みに
工期が来るように
したいが、非常に厳
しい状況である。検
討して努力する。

Q 特別教室を含む全
教室に設置可能か。

A 予算と相談中だが、
全教室一括で設置で
きるように検討して
いる。

Q 国からの補助金が
受けられなかった時
は。

A 補助金がなくても

自前の財源で設置す
る方向で考えている。

コミュニティバスの路線拡充

Q 町内に「交通空白
地帯」はあるか。停
留所設置場所の基準
は。

A 空白地帯はない。
停留所設置場所の基
準は把握していない
が、交通弱者の足を
考慮している。

Q 若久3丁目向山団
地内に運行できない
か。

A 検討する。

Q 始発の発車時刻を
5分程度早やめれば
可能ではないか。

A 担当課で現地調査
をした。乗り入れの
可能性は検証させて
もらう。

提言 コミュニティバ
スは、収益よりも福

祉事業の兼ね合いが
強いものだと思う。
財政状況が厳しいこ
とは重々承知してい
るが、年金は上らず

通院や買物に行く回
数を減らしていると
いう。憲法13条にあ
るように、公共の福

祉の尊重を願う。

国保税の問題点

Q 今年度の国保税引
き上げ額は。

A 世帯当たり約10%、
1万3千円程度引上
げた。

Q 引上げによって払
い込みが厳しくなり、
滞納が増加し、累積
赤字が2億円以上に
なっているが、その
補填は。

A 29年度の予算から
の繰上充用で赤字を
解消した。今年度も
繰上充用する予定。

Q 平成30年4月から
実施される国保の県
単位化で、さらに国
保税が引き上げられ
るのではない心配。

A 国の負担金の増額
を要求する。

Q 短期証・資格証は
新制度に移行しても

発行するのか。

A 廃止するつもりは
ない。

提言 国保税の一世帯
1万円の引下げを実
施し、町民の命と尊
厳を守っていただき
たい。



コミュニティバス

Q 所信表明に込めた町長の思いは

A 公平・公正な町政運営を継続



常 廣 直 行 (飛翔の会)

Q 町民との公約に結果を出すためには、任期四年のロードマップが重要では。
A 全体の政策に優先順位をつけながら決めていきたい。

所信表明を問う

Q 「投資によってまちが潤うことが出来る事業を行う」とは、どのような事業を想定しているのか。
A 荇田・小波瀬駅を人が集まれる駅に。観光や花火大会など

の施策が考えられる。

Q 凍結や先送りした事業を、財政を悪化させることなく進めなくてはならないが。
A 非効率な事業を探し出し、科学的に行政効果的に削減できるように進める。

財政の健全化

Q 「財政健全化検討会議」の答申を受けてから、9カ月。どのように取入れたのか。
A 行政改革推進会議

にて。詳細は協議をしていない。

Q 町長の政策は次年度予算に反映されるのか。具体的にどのような政策なのか。
A 小中学校のエアコンは夏休みにできないか投げている。小波瀬西工大前駅は大変厳しい状況。その他の思いは反映をされると思っている。

引き継いだ課題 小中学校のエアコン 設置

Q 規模とコストを縮小すれば、中途半端で活用しづらく、全体を完了するまでに結果的にコスト高になるのでは。
A 町民全体が後押ししている事業。どうしたらできるのか、考えるのが私の使命だ。

小波瀬西工大前駅の改修

Q 町長の念願だったが進捗していない。秘策はあるのか。
A 秘策はない。利便性・安全性の向上、地域活性化が目標でコストを下げてできる方法、PFIも検証する。
Q 「小波瀬西工大前駅担当」をつくったが、その結果は。
A 資料収集、補助金

情報など。結論までは、至っていない。

Q 5年前に「小波瀬西工大前駅担当」今年6月に「庁舎整備担当」をつくった。担当者は苦勞しているが。
A 知的な蓄積をしてきた。今後、議論をして望ましいものをつくっていく。

庁舎・公共施設の耐震・改修について

Q 小波瀬コミュニティセンターや北公民館の図書室廃止後は活用されていない。補修や修繕も延命処置ばかりで場当たり的だ。
A 具体的に検証し、本庁舎耐震は方向性を年度内に出す。
Q 適切な配置、機能の集約や複合化など



も含めて、将来を見据えた町全体の輪郭を描くデザインが必要では。
A 町は、三原文化会館、歴史資料館、中央公民館を、パンジープラザは福祉会館との統合を検討している。



議会だより かんだ (135号)
平成30年1月25日発行

編集・議会広報特別委員会
発行責任者・坂本東二郎

〒8000-0392 福岡県筈田町富久町1-19-1
☎093-434-1981 FAX093-434-2099

かんだスコープ!

vol.9 筈田町漁業協同組合に聞く



栄養満点な海のミルク
豊前海一粒かき

今回、筈田町漁業協同組合にお邪魔して、牡蠣の養殖から販売までを中心にお話を伺いました。

現在、組合には48人の漁師がいて、新規で3人の方が研修中との事でした。その歴史は古く、昭和55年に設立され平成21年まで市場でせりが行なわれました。当時は多くの漁業関係者が、まず網漁に出

たり、網のりやかきの養殖を行ったりして筈田町の漁業を支えてきました。しかし、近年、漁獲量の減少や販売高の減少により、平成22年に市場が廃止され、また、燃料費や資材費が高騰するなど漁業を取り巻く環境は厳しいものとなり、漁業経営の安定化に向けた取組が求められるようになりました。

そこで、獲る漁業から育てる漁業へ事業転換を図り、かきの養殖を促進するようになり、今では20から30基のイカダで養殖を行っているそうです。この時期は、とても忙しく毎日午前中に収穫を行い、作業場でよごれをとり、きれいにしてお荷を行っているそうです。

雪が降り大変寒い中取材させて頂きましたが、組合長である金丸幸道さんから、「筈田町漁協では、周防灘に面した豊前海一粒かきの養殖に力を入れており、組合員一同心を



こめて育てています。豊前海の豊かな栄養をたっぷり吸収しながら育った、大粒で身張りがある豊前海一粒かきをぜひ賞味ください。組合では、販売も行っているのです是非お立ち寄りください」とのコメントを頂きました。

あとがき

あけましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては、ご家族様と輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

今年は戌年です。十二支のうち、11番目にあたります。季節でいうと晩秋に例えられ、これまで時間をかけて育ててきた作物を収穫する時期です。ビジネスや家庭、人間関係等これまで続けてきた取り組みに、良い結果が表れる年になるでしょう。努力が報われ形になるのが、戌年なのです。

本町では、依然として財政は厳しい状況であり、議会も、財政再建に取り組んでいきましたが、明るい材料もあります。ここ数年の間に、企業の進出が続き、人口も増えていきます。議会も本年は大きく前進して、希望のある町につなげていきたいと思っております。皆様のご多幸をお祈りいたします。

友田敬而

表紙の写真



白川保育園園児の太鼓演奏
(成人式式典にて)

- 議会広報特別委員会
- | | |
|------|------|
| 委員長 | 小山信美 |
| 副委員長 | 友田敬而 |
| 委員 | 梶原弘子 |
| 井上 | 明修 |
| 榎谷 | 忠明 |
| 白石 | 学 |
| 岩谷 | 潔 |
| 屏正 | 隆 |